

# 【プログラム3：人との接し方について考えよう！ ～乳幼児との接し方～】

☆ねらい：乳幼児との接し方を考えることを通して、相手に応じた接し方が必要であることを知り、主体的な生活、豊かな人間関係を築こうとする心情を高める。

## 《プログラムの概要》

キーワードの例	相手に応じた接し方
時 間	25分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート（人数分）
主な活動	①乳幼児とふれあった経験を振り返る。 ②赤ちゃんや園児と自分が2人で過ごすときのことを考える。 ③感想等を全体に紹介する。
気を付けること	○乳幼児とふれあったことがないという生徒もいると考えられるので、経験のある生徒の感想等を紹介することにより関心をもたせる等の工夫をする。 ○赤ちゃんや園児とのふれあい体験の写真等がある場合は、活動2（1）で提示すると、より身近なこととして捉えやすくなる。 ○活動2（2）の「気を付けること」では、生徒から意見が出なかった場合は、進行役側から、「スマートフォン等を使って動画を見せたりすること」を問いかけ、考えさせる。 ※スマートフォンの動画等を赤ちゃんや園児に見せると、集中して見て、おとなしく過ごすことができるが、それが与える影響があることを知らせる。
備 考	○技術・家庭「家庭分野」、各学科に共通する教科「家庭」の授業等で、「赤ちゃんとのふれあい体験」「園児とのふれあい体験」等がある場合は、関連させると効果が高まる。
学習指導要領 特別活動との関連	<b>【高等学校 ホームルーム活動】</b> 内容（2）オ <b>【中学校 学級活動《現》】</b> 内容（2）オ <b>【中学校 学級活動《新》】</b> 内容（2）エ（3）イ